

## 第 35 回大阪市ハウジングデザイン賞第 1 回選考有識者会議 会議要旨

1 日 時 令和 4 年 9 月 29 日 (木) 午前 10 時 00 分から午前 12 時 00 分

2 場 所 オンライン会議

3 出席者

(メンバー) 江川メンバー、大谷メンバー、高田メンバー、中嶋メンバー、難波メンバー、山崎メンバー

(都市整備局) 上村局長、栗屋理事、片岡企画部長、岡本民間住宅助成担当課長

4 議 題

(1) 座長の選出について

(2) 表彰住宅の選考審査について

(3) 令和 5 年度以降の審査書類の様式の見直しについて

5 議事要旨

(1) メンバーの互選により高田メンバーを座長に選任した。

(2) 表彰住宅の選考審査について

審査対象住宅の書類審査により、第 2 回選考有識者会議の際に実施する現地審査対象住宅の候補を選考した。

今年度の推薦募集は 5 月 20 日から 6 月 20 日に実施し、市民の方々から推薦された住宅が 108 件あった。そのうち「大阪市ハウジングデザイン賞表彰制度実施要綱」に基づく審査対象住宅は 52 件であり、多数を占める新築の高層分譲住宅の他、既存建物の改造住宅、完成後 20 年を経過して維持管理が良好に保たれた住宅などの推薦もあった。

これら審査対象住宅について、「大阪市ハウジングデザイン賞表彰制度実施要綱」に規定されている選考基準に基づき、

1. 市民の多様なニーズや地区の特性に対応した水準の高い住宅
2. 外観デザイン、配置計画、住戸計画等に優れ、魅力ある住宅や住環境となっているもの
3. 新しい技術の開発や斬新なアイデアの導入、実験的な取組等により、快適な住空間になっているものや新たな提案がなされているもの
4. 人にやさしい住まいづくりの観点から、適切な配慮がなされているもの
5. 既存建物を有効に活用し、優れた改造等が行われているもの
6. 維持管理が適切に行われ、住宅や住環境が良好に保たれているもの
7. 戸建住宅の集合は、緑地や広場等の共用空間が充実しているもの
8. その他、住宅や住環境に関して優れているもの

等について、総合的な観点から書類審査を行いメンバーの意見を聴取して、第 2 回選考有識者会議において実施する現地審査対象住宅を選考した。

(3) 審査書類の様式の見直しについて、改正案によりメンバーの意見を聴取した。